

第2次小城市男女共同参画プラン策定に伴う

高校生ワークショップ

発行日：平成 28 年 6 月
発行者：小城市 企画政策課

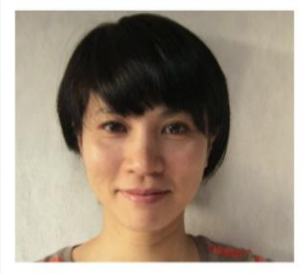
平成 28 年 6 月 9 日（木）、第 2 次小城市男女共同参画プラン策定のため、佐賀県立牛津高等学校の生活経営科 2 年生 39 名を対象として、高校生ワークショップを開催しました。

ファシリテーターに高崎恵さんを迎え、若い世代の人達が様々な分野で性別に関わらずひとりひとりの個性、能力を十分に活かすには、どうしたらよいか考えました。

スケジュール

1. 小城市男女共同参画プランについて
2. ワークショップ『ひとりひとりを大切にできる社会へ 私たちができること』

ファシリテーター



高崎 恵さん

1974 年鹿児島市生まれ
かごしま女性政策研究会会員
男女共同参画関連講座における、ワークショップの有用性を実感し、学校、地域、自治体、企業等においてワークショップという学びのスタイルで男女共同参画を学ぶ講座を実施されている。

男女共同参画社会

～男女共同参画社会とは～

男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会

(1999 年制定 男女共同参画社会基本法前文)

男女共同参画を取り巻く法制定等の動き

- 1985 年（S60 年） 「男女雇用機会均等法」公布（1986 年施行）
- 1999 年（H11 年） 「男女共同参画社会基本法」公布・施行
- 2000 年（H12 年） 「男女共同参画基本計画」策定 【国】※以降 5 年ごとに見直し
- 2001 年（H13 年） 「佐賀県男女共同参画基本計画」策定 【県】※以降 5 年ごとに見直し
- 2007 年（H19 年） 「小城市男女共同参画プラン」策定 【小城市】※10 年後に見直し
- 2017 年（H29 年） 「第 2 次小城市男女共同参画プラン」策定予定【小城市】

ワークショップ

＜Ⅰ＞ アイズブレイク

利き手でない方の手で名前書き



書いた名前を見せ合い、自己紹介と書いた時の感想を話し合う



利き手でない方の手で名前を書いた感想を発表

- 慣れていないことや初めてのことは誰にとっても難しい！
- みんなに初めてがあり、できないことがある。
- 日本人は、子どもから大人まで発表することが嫌い。⇒それは、**違いを恐れている**から。
- 「違い＝間違い」ではなく、違いこそが「宝」であり、違うからこそ尊い。
- 意見があるのならきちんと発信していく練習をしていくことが大切。
- 『**違いは、間違いではない**』のだから。

＜Ⅱ＞ ちょっとゲーム

言葉で出される 6 つの指示を聞いてお絵描き（○や△を使った簡単な絵描き）

約束!! ①しゃべらない ②のぞかない



背中に貼られたシールでグループ分け

約束!! ①しゃべらない ②シールをはがしたり、何かに映したりしない。



自分が描いた絵をグループで見せ合って、絵を描いた時の気持ちや見せ合った感想を話し合う
ただし・・・(次頁へ)

- **言葉を遮断**されたとき、とても戸惑ってしまう。
- 今回のシールは、色がとても目立つため、**色という 1 点に集中**すると、**形は同じという感覚を見失**ってしまう。
- 人に置き換えると、属性（性別・学歴・年齢・職業 etc.）が色々あるのに、**目立ちやすい事に焦点を当て評価**してしまう。
- 最たるものが性別であり、「**男のくせに・・・**」だとか、「**女だったら・・・な職業がよい**。」などと言ってしまう。
- 本来は、**性別にかかわらず、ひとりひとりに色々な個性と能力があるのに・・・**

≪Ⅲ≫ 話し合いの前に

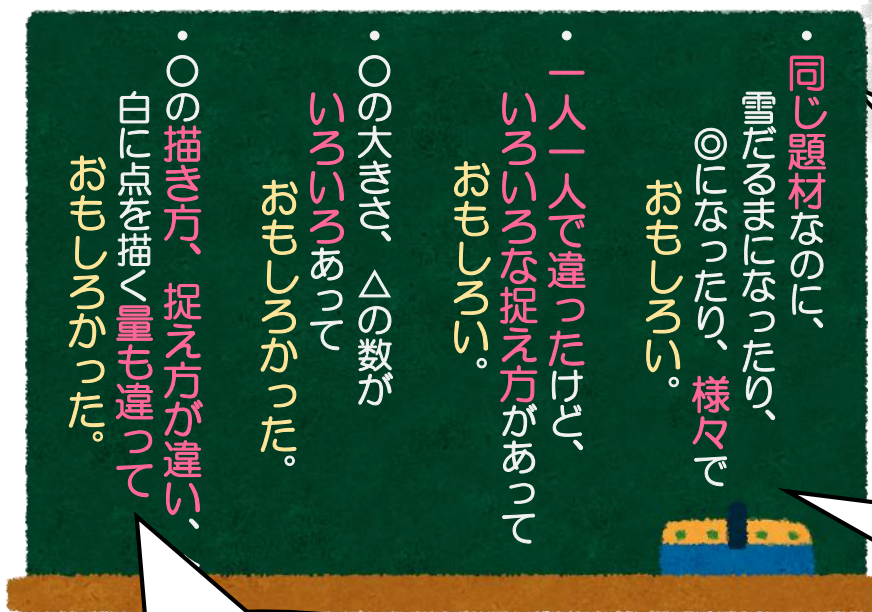


それでは・・・

自分が描いた絵をグループで見せ合って、絵を描いた時の気持ちや見せ合った感想の話し合い

- ・違いを恐れず、違いを重ね合おうというマインドで話し合うように。
- ・自分は、なぜ人と違う意見を持つのか、その理由をしっかりと相手に伝える。
- ・対話をして、それぞれの意見を大切に私たちが新しい意見を作ったと納得し、自分たちでやるという意識が必要。
- ・違いをプラスに変えていくための話し合いの仕方、受け止め方、自分を見直すことがとても大切。

≪Ⅳ≫ 発表



高崎さんから

ひとりひとり「様々である」ということが「おもしろいことだ。」ということをこれからの学校生活の中で経験してください。

高崎さんから

ひとりひとりであるという人権の核！そもそも私たちは、「ひとりひとり捉え方が違う」ということを教えてくださいました。

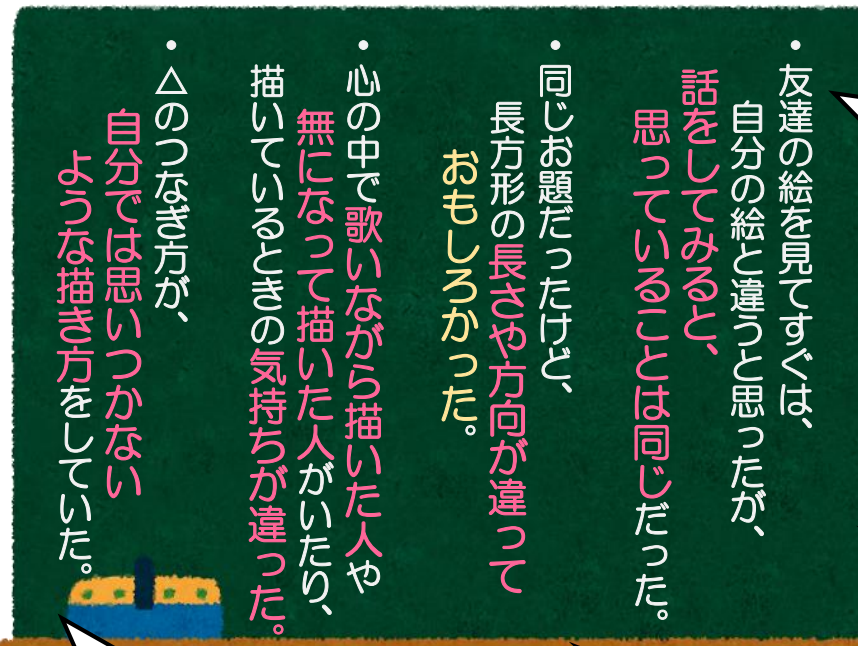
高崎さんから

指示をあいまいに出されると、想像力を引き出し、いろいろな個性が発揮できます。

間違っではない時には、学校での先生からの指示のように、的確に事細かい指示が必要です。

高崎さんから

おもしろいと思える感覚を持って、自分の違いと向き合いながら、人の良いところは取り入れることが必要。



高崎さんから

人を目に見えている物だけで**区別し、排除している**ことがよくあります。話してみたら共通点も違う部分も多くあります。**話してみることが大切**です。



高崎さんから

丁寧に違う部分を認め合い、**共通する部分を見つけ合う**ことが人とのつながりの中では**大切**です。

高崎さんから

自分では**思いつけないやり方を教えてくれる他者がいる**と思って、物事にあたっていくことが**大切**です。

高崎さんから

物事に取り組むときに**得意な人、苦手な人では全く気持ちが違う**ものです。**他人の気持ちに配慮することも必要**です。



≪Ⅴ≫ 体験したこと

今日のワークショップを受けて、男女共同参画に関する体験を紙に記入



紙に書いたことをグループで紹介し合う

女の子は、家の手伝いをしないといけない。

「女の子だから女の子らしい服を着なさい」と言われた。

発表などで、他の人と意見が違って恥ずかしいと思っていたが、違うことはおかしい事ではないと分かった。

自分とは違うという理由で他人を無意識で否定していたけど、それがいけないことだとわかった

≪Ⅵ≫ 最後に高崎さんから

性別により役割を決めてしまう社会ではなく、性別にかかわらずひとりひとりの力と個性を十分に発揮できる社会が男女共同参画社会です。

皆さんが生まれた年にこの法律も生まれて取組みを進めていますが、なかなかひとりひとりの意識が変わらないため、社会のあり方も変わっていかない現状があります。

社会は与えられたものではなく、皆さんが変えていくものです。社会を変えていくという意識を持って話してみることを、そのことを他の人に話すということをしてください。

皆さんが生きているこのエリアをより良くしていくためには、皆さんの意見が必要なのです。